

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻		
科目名称 [英語名称]	資源植物生産学特論 I [Special Argument of Plant Resource]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	631001	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	廣瀬 大介			学位授与の方針 との関連	DP1		
授業概要	人類にとって有益とされる(または有益となる可能性がある)植物を資源植物と定義されますが、文明の発達と共にその数や範囲は増加する傾向にあります。本講義では資源植物を栽培植物と未利用植物に分けてそれぞれを解説し、資源植物とは何かを理解させる目的で行います。なお、資源植物は、年々変わっていくので最新の論文を元に講義を進めていきます【知識・理解の育成】。						
関連する科目	特にありません。						
授業の進め方と方法	毎回、アクティブラーニング型授業を実施します。各回のテーマに沿って教員が講義を行い、それに対して各自の考え方を述べてもらいます。						
授業計画	<p>第1回目 資源植物とは何か 資源植物とは何かについて学びます。</p> <p>第2回目～第5回目 資源植物の種類—食料としての利用</p> <p>第6回目～第8回目 資源植物の種類—工芸作物としての利用</p> <p>第9回目～第11回目 資源植物の種類—医薬品としての利用</p> <p>第12回目～第13回目 資源植物の種類—工業用原料としての利用</p> <p>第14回目～第15回目 資源植物の種類—環境保全としての利用 資源植物の種類とその利用について学びます。</p>						
授業の到達目標	資源植物とは何かを理解することを目標としています。						
授業時間外の学修	予習より復習を重視します。講義内容を十分理解できるよう努めてください。予習:30分、復習:1時間(最大)						
課題に対する フィードバック	提出されたレポートについて講評します。	評価方法		受講態度(50点)、課題提出(50点)			
テキスト	必要に応じてプリントを配布します。						
参考書	資源植物学-研究方法への手引き						
備考							